

授業科目名	応用刑法 I【応用刑法】 Advanced Criminal Law I (Advanced Criminal Law)
授業科目群	法律基本科目
標準学年	2年次
必修・選択の区別	必修
開講学期	前期
開講曜日・時限	木曜日・1時限
単位数	2単位
担当教員名	松生光正 (Matsuo Mitsumasa)
授業の目的	刑法解釈論の基礎的知識があることを前提に、もっぱら判例事案を素材にして、刑法的な事例分析と問題解決のための能力を涵養することを目的とする。
履修条件	基礎刑法 I・II を履修しているか、1年次の法学既修者に限る。
到達目標	カリキュラムマップ、到達目標科目対応表及び学修ロードマップを参照のこと。
授業の概要	<p>刑法総論及び各論において議論の対象となっている主要な問題点について、主に判例の事案を素材として、対立する判例・学説の立場の妥当性を検討し、適切な事案の解決を探る。取り上げる項目は、総論では、因果関係、不作為、正当防衛、原因において自由な行為、錯誤、過失犯、正犯・共犯などであり、各論では、生命・身体に対する罪、自由・住居の平穩・名誉に対する罪、窃盗罪・強盗罪、詐欺罪、横領罪、背任罪、放火罪、文書偽造罪、国家的法益に対する罪などであるが、それぞれのテーマに関して直接に関係する事案だけではなく、関連する問題に関わる事案も検討の対象とする。</p> <p>In this Lecture the cases both from the general part and the special part of criminal law are discussed.</p>
授業計画	<p>第1回 罪刑法定主義・不作為犯 罪刑法定主義違反や不作為犯の成否に関する事案を検討する。</p> <p>第2回 因果関係 因果関係の存否に関する事案を検討する。</p> <p>第3回 正当防衛・緊急避難 正当防衛・緊急避難の成立に関し問題とされている事案を検討する。</p> <p>第4回 故意・過失 故意の成否や過失犯に関する事案を検討する。</p> <p>第5回 責任 原因において自由な行為など責任に関する事案を検討する。</p> <p>第6回 未遂 未遂犯や中止犯に関する事案を検討する。</p> <p>第7回 正犯・共犯 間接正犯・共同正犯に関する事案や教唆犯・幫助犯に関する事案を検討する。</p> <p>第8回 共犯の特殊問題・罪数 共犯と身分などの正犯・共犯に関する特殊問題および罪数に関する事案を検討する。</p> <p>第9回 生命・身体に対する罪および人格に対する罪 殺人罪・墮胎罪・傷害罪など生命・身体に対する罪および住居侵入罪・名誉毀損罪などの人格的法益に対する罪に関する事案を検討する。</p> <p>第10回 窃盗罪と強盗罪 財産犯一般に関する問題や窃盗罪・強盗罪に関する事案を検討する。</p>

	<p>第11回 詐欺罪・恐喝罪 詐欺罪・恐喝罪に関する事案を検討する。</p> <p>第12回 横領罪と背任罪 横領罪と背任罪に関する事案を検討する。</p> <p>第13回 公共危険罪および風俗に対する罪 放火罪などの公共危険罪およびわいせつ罪などの風俗に対する罪に関する事案を検討する。</p> <p>第14回 偽造罪 文書偽造罪に関する事案を検討する。</p> <p>第15回 国家的法益に対する罪 公務執行妨害罪、犯人蔵匿罪や偽証罪などの司法作用に対する罪や賄賂罪などに関する事案を検討する。</p>
授業の進め方	授業の前に指示された判例を事前に参照していることを前提として、事案の問題点は何か、どのような根拠に基づきどのように解決されるべきかを双方向的対話型授業を通じて確認していく。不十分なところは講義形式で補う。また、小テストによって基礎的知識を確認するとともに、数回のレポート作成によって論述の作法を身につけられるようにする。
教科書及び参考図書等	参考書 刑法判例百選 I (7版)(有斐閣)・刑法判例百選 II (7版)(有斐閣)
試験・成績評価等	学期末試験によるが、提出されたレポートの成績や質疑応答を考慮する。評価比率については、試験(70%)、レポート(20%)、小テスト・質疑応答(10%)という形で、個別的に評価し、さらに相対的評価(Aは3割程度、Bは4割程度)を加えて最終的な成績評価を行う。
事前学習	授業の前に示す判例リストにおける判例全てについて、まず事実関係を確認し(場合によっては原審や一審の判例も参照して)、次に、どこに解釈論上の問題点があるかを考え、どのように解決されるべきかを学説の議論状況も考慮に入れて検討しておくことが求められる。
課題レポート等	学期中に数回程度、レポート課題を提出することを求める。内容は事例問題の解決で、一回の作成量はA4版のレポート4枚程度を予定している。小テストは一回につき15問程度を予定している。
オフィスアワー	授業終了後に質問を受け付ける。それ以外の時間帯については、メールで連絡すること
その他	